

産業能率大学 情報マネジメント学部

ことばのしくみと文化	履修年次	1	
	単位	2	
長谷川 玲子	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業では、普段は無意識に使っていることばを客観的に理解するために、言語学の様々な理論を紹介し、手に負える範囲で活用していく。理論は抽象的な道具のようなもので、これを使うと、具体的に日本語や英語の特徴や変化の性質などが整理されて見えることがあるからだ。また、いくつかの異なる物差しを得ることによって世界の言語の様々な側面を比較することも可能になる。母語を相対化する視点は、外国からの訪問者・定住者がますます増えるであろう日本社会には不可欠と言える。この科目はその視点を獲得するための知識と演習の場を提供する。授業は、講義が中心となるが、頻繁に受講者に問いを投げかけ、一緒に考えたり観察したりしながら進める。授業での活動には主体的に参加して、「気づき」を体験することが重要である。自身が使っている「生きた日本語」は理論を試す格好の材料なので、このクラスでは「変な日本語」「乱れた日本語」も大いに歓迎する。なぜ「変」なのか、なぜ「乱れた」と言われるのかを解明し、状況に合わせて「適切な」日本語を使い分けることができれば、言語生活はより豊かになるはずである。ことばについて真剣に考える機会となることを期待する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語学の基本的な考え方や用語を理解し、日本語や英語に対して受講前より深い関心を持つようになる。 ・自分自身の言語行動について客観的な視点を持ち、振り返ることができる。 ・社会や文化という観点から、言語について考えることができる。 			
成績評価の方法			
①授業出席および小課題 ②授業外学習 ③小テスト ④課題レポート(必須)により、総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	「ことば」の分析を楽しもう！	8	「冬でもイチゴが売っている」とは？
2	日本語は特別なのか？	9	「明るい声」は何色だろう？
3	選手の名前は「Villa」で「ビジャ」？	10	「この部屋は暑いな」の影響力は？
4	「新聞」は「shimbun」か、それとも「sinbun」か？	11	「入場券、見せてもらっていいですか」は質問か？
5	Mr.Children の歌は字余りなのか？	12	英語も奥が深い！
6	「ちがくない」は、ちがいます？	13	アイヌ語に何が起きたのか？
7	「ら抜き言葉」はどこへ行く？	14	「国語」と「日本語」の未来は？